

## 牧 師 所 感 : Merry Christmas !

私はキリスト教徒であるので、キリストの誕生日はメデタイ日である。私だけでなく、日本国に住んでいる諸国民族から来られたキリスト者も、クリスマスは、メデタイ日なのである。

ところでメデタイ日は、全世界のどの国々においても祝福を呼び込むのが目的で、盛大なお祭りは欠かせない。従ってクリスマスは、キリスト者にとって、キリストの誕生日として最高にメデタイ日である。ところで日本国は仏教国であるから仏陀の誕生日は最高にメデタイ日としてお祝いする。しかも盛大にお祝いする。当然である。

さてアメリカを始め、ヨーロッパの国々については、クリスマスの意味をどのように考えているかを調べてみよう。

私たちが知っているように、キリスト教はイスラエル国から始まりヨーロッパの国々でキリスト教国として傳播し、1620年にピューリタンによってアメリカに渡り、アメリカ建国の礎となった。ところでアメリカはキリスト教国として宣言してはいるが、キリスト教国でもある。大統領の就任式の時、聖書に手を置いて誓約する。故にキリスト教国と言っても良いと思う。ところがいつの間にかアメリカは、非キリスト教国となった感がある。つまり世俗化して、雑多な国の宗教が蔓延<sup>はびこ</sup>って来て、宗教多元主義の国となった。今のアメリカの墮落ぶりがメディアを通じて世界に知られるようになった。

さて私はその豹変ぶりを、クリスマスカードから知ることとなった。上でクリスマスはメデタイ (Merry Christmas) と書いた。しかしいつの間にかカードは Merry Christ<sup>~~~~~</sup>ではなく、ただの挨拶、“Season’s greetings”と平凡な挨拶となった。でも私にとって、はメデタイ クリスマスだ。

キリスト (油を注がれた) イエスよ、今年も戦争で苦しんでいる人々を慰め、絶望から希望へと立ち直らせて下さい。キリストに在って、アーメン！